

# 銀座の電灯供給の始まり

## 第3電燈局

- 住所  
東京都中央区銀座3丁目3番  
(東京電力銀座支社)
- 交通アクセス  
東京地下鉄  
銀座駅 B4出口 200m

### ■銀座の電灯供給の始まり

明治21年(1888)12月20日、東京電燈会社(東京電力の前身)は、京橋区新肴(さかな)町に設置した第3電燈局(小規模の火力発電所)から、銀座地区へ配電線による電灯供給を始めました。これは、錦絵にも描かれた銀座街頭における、移動式発電機によるアーク灯点灯から6年後でした。

第3電燈局は、同社の開業時期に麹町(第1)、日本橋(第2)、京橋(第3)、神田(第4)、千束(第5)に設置した五つの電燈局(発電所)の一つで、名称番号より一つ後の4番目の竣工でした。

その後、当電燈局は、明治29年(1896)の浅草火力発電所から既存電燈局への交流による一括送電に伴い、蒸気機関などの発電設備が取り除かれ「配電所」と名称を変えました。

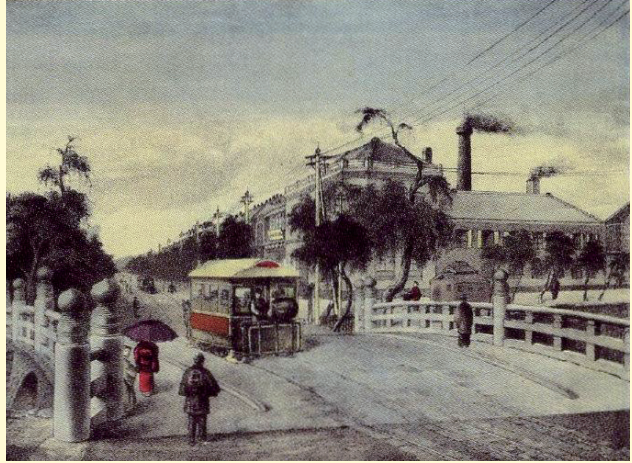


図1 第3電燈局の煙突と排煙か

- ・東京名所・京橋の図 数崎芳次郎筆 明治22年(1889)
- ・京橋の北側から描いたもので、アングルから煙突と排煙は第3電燈局のものと同推察されます。
- ・道路右側には、当時の配電線と思われるものが描かれています。
- ・中央に走っているのは馬車鉄道です。 電気の史料館提供

### ■当時の地図での場所

図2は、第3電燈局が電灯供給を始める4年前の明治17年に発行された地図で、同社の50年史に記されている京橋区新肴町15番地は、「第3電燈局」と追記した赤丸のところにあります。

新肴(さかな)町の町名は、幕府の御用魚屋が多く住んでいたことからこのように呼ばれました。



図2 東京実側全図 明治17年 京橋図書館蔵

この図では、外堀りや数寄屋橋・数寄屋橋門は未だ残っており、付近の町名も江戸時代のまま引き継がれています。右隣の槍屋町の町名は、幕府の御用槍師が屋敷地として拝領したのが由来と伝えられています。



図3 現在の地図

## ■現在の状況

明治時代の地図(図2)を参考に、現在の地図(図3)において、第3電燈局の位置を追うと、外掘りは埋められて外掘り道路や高速道路に、また、数寄屋橋がなくなるなどの変化はありますが、道路区画がほとんど同じであることから、この区画を頼りに位置づけると、「第3電燈局跡」と記した赤丸の所になります。ところで、この場所は東京電力銀座支社のある場所でもあります。

現地を訪ねたところ、東京電力銀座支社は並木通り沿いにおいて、住所は銀座3-3-18、敷地は明治17年の地図(図2)より広がっていました。

辺りを調べてみましたが、当時を偲ぶようなものは見当たりませんでした。



写真1 第3電燈局跡(東京電力銀座支社)  
並木通りの北方向から撮影



写真2 並木通りの街灯

写真3 通り案内

## ■第3電燈局の設備概要

設備概要は、次のような内容です。

- ・石炭を燃料とした蒸気機関、70馬力×2台
- ・エジソン式10号発電機、直流125V、200A、25kW×4台
- ・主要設備は全て輸入品
- ・電柱による直流3線式架空配電、配電エリアは直流210Vの低電圧であったことから半径2km程度でした。

## ■第3電燈局のトピックス

第3電燈局は、銀座地区への電燈供給だけでなく次のようなトピックスもあります。

### a. 東京電燈会社の本社併設

建設期(明治20年(1887))から浅草集中火力発電所建設地点への移転までの7年間、敷地内に本社が併設されていました。

### b. 倉庫で白熱電燈の試作研究

明治21年(1888)12月、エジソン・スワン社から輸入した電球製造機械を倉庫に備え付け、ここを電球試作準備室として研究を行いました。

ここでの研究は、同社が電燈製造事業を分離し白熱舎(現株東芝のルーツの一つ)に譲渡するまでの3年間続けられましたが、試作成功には至りませんでした。

## ■当時の供給先

当時の地図と東京電燈五十年史に掲載されている「電燈普及状態図」などを参考に、第3電燈局が電燈供給を始めたころの供給先を推察すると、次のようなところが挙げられます。

なお、当時、電気は非常に高価であったことから、供給先としては公的機関、銀行、保険会社、新聞社などが主であったと想定されます。

### ・新聞社

銀座の明治10年代と20年代初期は、新聞社時代といわれており、現在の和光のある4丁目交差点角地の3ヶ所に新聞社があるほどで、10社以上が集まっていました。東京電燈五十年史には、明治25年に朝日新聞、都新聞、東京新報に電動機を売るとともに電力供給を開始したとの記述があります。

### ・海軍の施設

現在の築地5丁目国立ガンセンターのところから浜離宮までの広大な土地に、海軍の兵学校、軍医学校、経理学校、兵器製造所などがありました。

### ・官公庁など

現在の銀座6丁目には農商務省が、同8丁目には逓信省の電信中央局が、外掘りの内側では内幸町に東京府庁舎、鹿鳴館などがありました。

### ・新橋停車場

明治5年(1872)に開通した日本最初の鉄道の起点駅で、現在のJR新橋駅東側の汐留地域にありました。

### ・築地居留地

現在の中央区明石町、聖路加国際病院のあたりに、明治元年(1868)から外人居留地が設けられ、公使館、教会、学校、ホテルなどがありました。